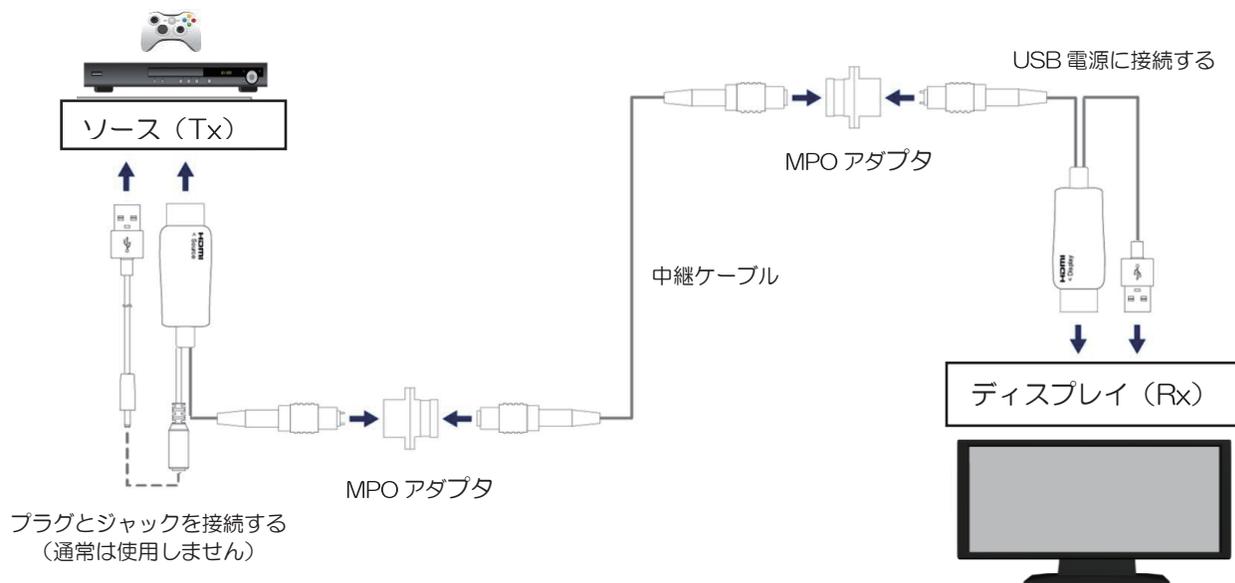
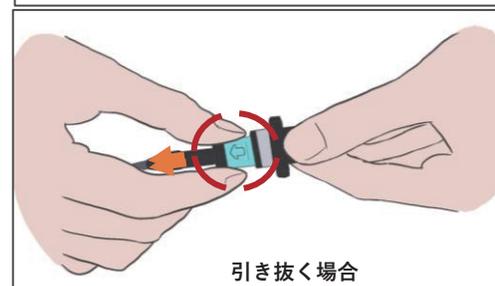
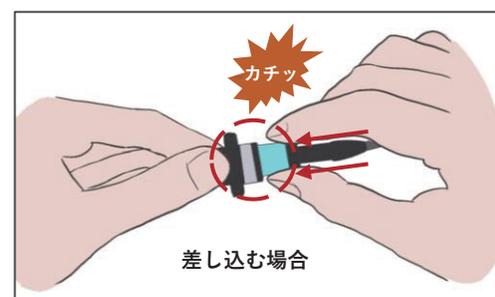
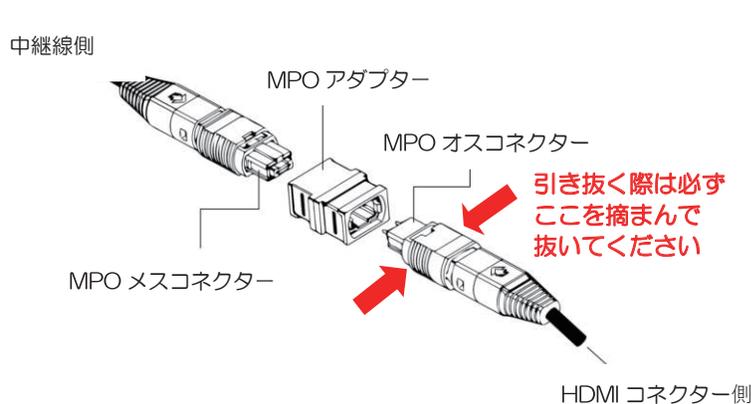


◆ 製品ご使用上の注意 ◆

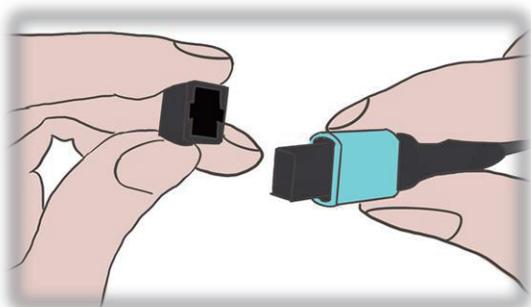
- 施設前に必ずご使用になる機器間で接続、動作確認をしてから施工してください。機器の特性により通信・信号伝送できない場合があります。
- ディスプレイ側の USB コネクタは 5V・500mA 以上の AC アダプターに接続して給電してください。ソース側の USB 給電は不要ですが、機器によってはウェイクアップ用として必要になります。
- HDMI 分配器、中継器をご使用になる場合、必ず機器間で接続、動作確認をしてください。
- MPO 中継ケーブルは専用ケーブルをご使用ください。
- ケーブルには方向性があります。出力 (Tx) と入力 (Rx) を反対に接続すると伝送できません。  
 “Source” (Tx) 側 ⇒ 送信機器 [ DVD/Blu-Ray プレーヤー、PC など ]へ  
 “Display” (Rx) 側 ⇒ 受信機器 [ TV、モニター、プロジェクターなど ]へ



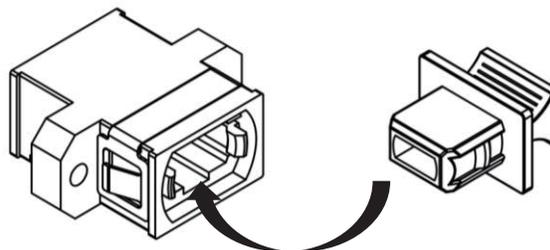
- MPO コネクタの端面には触れないように取り扱いしてください。端面のレンズに埃や油分が付着すると伝送出来なくなります。コネクタ解放時には必ず防塵キャップを装着させてください。
- MPO コネクタを差し込む際は、必ず MPO コネクタの黒いスリーブを指でつまんで、付属の MPO アダプターに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- MPO コネクタを抜き取る際は、必ず下図の矢印の部分をつまみ、引き抜いてください。
- ブッシュ部分やケーブルを直接引っ張ったり、押し込むとケーブルの断線、コネクタが損傷することがあります。



- MPO コネクタ、MPO アダプタを取り外した際は、必ず付属のダストカバーを装着してください。コネクタ端面に埃や異物が付着すると信号伝送できないことがあります。

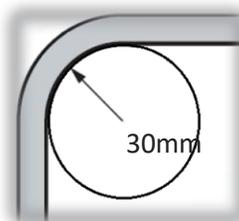


MPO コネクタにダストカバーを装着



MPO アダプタにダストカバーを装着

- ケーブルを無理に引っ張ったり、規定値以上に曲げたり、振った場合、ステップルなどでの固定ケーブルにストレスや衝撃を与えた場合、断線や不良の原因となります。  
規定値：最小曲げ半径 30mm（固定時）



- 本製品は屋内配線用の商品です。架空配線、水中敷設、地中直埋設、高温環境や結露が発生する環境でのご使用はお避け下さい。  
また機器に接続した状態でケーブルに物理的な負荷をかけると、プラグ破損の原因となり、信号伝送できなくなることがあります。

- ケーブルを抜き差しする時には、必ずプラグの矢印部分を指で掴んで行ってください。他の部分に負荷が掛かるとコネクタの破損、ケーブルの断線の原因になります。

- 体や衣類の静電気を除去してから当製品を扱ってください。静電気が製品不良の原因になることがあります。

#### 故障と思ったら

- ① HDMI コネクタのディスプレイ側とソース側が逆に接続されている  
@HDMI コネクタの表示を確認し、表示された機器に接続してください
- ② MPO コネクタが正しく接続されていない  
@MPO コネクタを差し込みなおしてください
- ③ ディスプレイ側の USB コネクタからの給電が無い  
@AC アダプタの電源供給を確認してください。
- ④ MPO コネクタの接続部にホコリや異物が付着している  
@MPO コネクタの端面をエアクリナーでクリーニングしてください。  
@光ケーブル専用クリナーで MPO コネクタ端面の汚れをふき取ってください。